

10	特になし
11	分散分析、検定法のコマンド操作法もあとよかった。
12	何をどう分析したいのかははっきりさせていないと、コマンドの意味など理解しにくいように思う。基本的な分析から自分に役立つようにするのはこれからでしょうね。
13	特にありませんが、回帰分析だけでなく、臨床研究で頻りに利用される統計手法について、模擬データをもとに STATA を使って演習ができると、今後の臨床研究に役立てられて良いのではないかと思います。
14	統計についてかなり知っていないと、ついていけない人もいるのではないかと感じた。パラメトリック分析は、よくわかりませんでした。
15	自分が知っている分野は理解できたが、理解できていない分野はデータを打ち込んでいるのみで、消化不良な気がしました。前回より解説が字足らずな感じがします。
16	STATA の使い方はある程度理解できましたが、統計学的な知識がある程度ないと意味のある研究にはなかなか結びつかないと思いました。
17	特になし
18	統計ソフトの使い方に関しては理解できたが、データの中身の読み方に関してはもっと詳しく説明が欲しかった。(座学があったほうが良いと思う)
19	セミナーの内容を追うのがやっとならう。何を分析するのかははっきりさせていないと理解しにくい。帰って統計の基礎をさらいます。
20	解析に備えた、データシートの加工について詳しく教えてください。
21	自分の統計に関する基本的な知識が不足していたため、理解が不十分でした。今度もう少し勉強したうえで、データの処理からの講習会があれば受けてみたいと思いました。
22	勉強不足なんですけど、実際に使用される解析方法の手法、実例、落とし穴、データの解釈の仕方などをお聞きしたいと思います。
23	streg
24	jmpより使い方は簡単かもしれない。基本的な統計の知識がないと、どの統計方法を選ぶべきか迷うかもしれない。
25	データをどのように作っていくか。
26	統計の意味を十分理解していないと難しい
27	コマンドの探し方
28	サンプルデータの作り方

7. 今回のセミナーについて改善するべき点がありましたらご記入ください。(セミナーの運営面・セミナーの内容・配布資料など、どんなことでも構いません。)

Actio

[View 20 Responses](#)

7. 今回のセミナーについて改善するべき点がありましたらご記入ください。（セミナーの運営面・セミナーの内容・配布資料など、どんなことでも構いません。）

#	Response
1	動作不具合などについては、今後、あらかじめ対応が可能と思う
2	経済効果分析はあまり医学と関係ないのではと思った
3	配布資料をもう少し大きく
4	また開催してほしいです
5	大変勉強になりました。講師の方、スタッフの方の適切なアドバイスでスムーズに受講でき感謝申し上げます。
6	もう少し頻度が多いといいと思う
7	最後に教えて頂いた内容を使用したの演習があり、よかったです。
8	できれば、医療関係の例で進めていただけますと幸いです。
9	なし
10	STATA で何ができるかの全般的な話もあるとよかった。
11	年間を通じて定期的にSTATAに関する実用的なセミナーを開いていただきたい。 理論的な統計の話ではなく、STATAなどの統計解析ソフトを使って、今日のセミナーのような実用的な演習を行っていただきたい。
12	現状で十分良いと思います。
13	特になし。土曜日よりも参加しやすかった。
14	実際のデータから分析の具体的な方法を一から教わりたいです。
15	PC を使って実際に試してみることはとても良いことでした。
16	解釈
17	早い。
18	PC でスクール形式でできる会場があるととても良い
19	サンプルデータを持って帰りたい
20	1と2は分かりやすかった3の生存時間解析は stset が分かりにくいので、もう少しいいいに仕組みを説明していただくとありがたい

8. 臨床研究センターにて、今後、開催して欲しいセミナー等がありましたら、具体的な内容をご記入ください。また、開催曜日や時間帯などについてもご希望があればお聞かせください。

Actio

[View 18 Responses](#)

8. 臨床研究センターにて、今後、開催して欲しいセミナー等がありましたら、具体的な内容をご記入ください。また、開催曜日や時間帯などについてもご希望があればお聞かせください。

#	Response
1	臨床で役に立つ基礎的な統計解析の概念を授業して頂けると幸いです
2	もっと多くの日程で開催してほしい
3	SPSS,STATA の基本使用法、個人コンサルテーションの機会
4	stat mate もやってほしい
5	病棟業務がない今回のような土曜日の午後はとても有難かったです。
6	スタッフの皆様には申し訳ありませんが、土曜日や時間外しか参加できないのでよろしく願っています。
7	平日日中は、臨床業務を担当している者には参加困難です。土曜日中心に開催していただけると嬉しいです。
8	この様な面白く役立つ研修セミナーならなんでも！
9	臨床研究センターの問題ではなく、大学の問題だと思いますが、臨床研究を推進したいのであれば、実際に多くの研究者が利用できるように統計解析ソフトや EndNote などの必要最低限の環境整備と教育を長期的かつ計画的に実行すべきだと思う。
10	基礎から理解できる必要な統計学の授業をして頂きたいです。
11	今後も臨床研究に直結するセミナーをたくさん開催していただきたいです。
12	今回のように面白い企画なら大感激です。
13	臨床医なので、この時間だと参加できます。
14	統計の基本講座。jmpの講座。
15	夕方、土曜日など
16	多変量解析の準備としての基本統計(分散分析と可能な posthoc test)および散布図と相関係数の一覧の出し方 引き続き多変量解析の詳しい方法
17	今後も中級者編などのセミナー
18	今回分析した内容の統計学的な基礎

CDのみ統計ソフト「Stata」「SPSS」セミナー 参加者アンケート 初学者のための臨床研究支援講座(7)(8)  
20110406

Survey Status: Closed Launched: 4/5/2011 6:00 PM Closed: 4/5/2011 10:02 PM

1. 本日、受講されたセミナーを選択してください。

Active

(A)統計ソフト「Stata」セミナー入門コース 3月5日(土)12:30~16:30		0	0%
(B)統計ソフト「Stata」セミナー医療統計コース 3月10日(木)16:30~20:30		0	0%
(C)統計ソフト「SPSS」セミナー 3月15日(火)10:30~17:30		17	65%
(D)統計ソフト「SPSS」セミナー 3月16日(水)10:30~17:30		9	35%
Total		26	100%

2. 本日のセミナーの全体的な満足度をお聞かせ下さい。

Active

満足		14	58%
どちらかといえば満足		10	42%
どちらかといえば不満足		0	0%
不満足		0	0%
Total		24	100%

3. 今回のセミナー情報は、どのように入手されましたか？（受講するきっかけとなったお知らせ方法を、ひとつ選択してください）

Active

医学部附属臨床研究センター（KCR）からの一斉送信メール（職員・学生あての一斉送信）		10	38%
医学部附属臨床研究センター（KCR）からの一斉送信メール（過去の受講者あての一斉送信）		4	15%
北里大学大学院医療系研究科・学生への一斉送信メール（特別講義扱いとなったお知らせメール）		2	8%
医学部附属臨床研究センター（KCR）のホームページ上のお知らせ		1	4%
EBM関連のメーリングリスト		0	0%
北里大学・病院内の掲示ポスター		3	12%
知人からのお知らせ「一斉送信メール」転送による紹介		0	0%
医学部附属臨床研究センター（KCR）スタッフからの紹介		4	15%
その他 <a href="#">View Responses</a>		2	8%
Total		26	100%

4. 臨床研究に関して、どのようなお立場でいらっしゃるをお聞かせください。（複数選択可）

Active

研究計画書（プロトコル）作成者		12	48%
研究対象者の治療や対象者データ収集に関わる医師		9	36%
研究対象者の治療や対象者データ収集に関わるコメディカルスタッフ		7	28%
統計解析・分析担当者		10	40%
学会発表担当者		14	56%
論文執筆担当者（筆頭著者として）		16	64%
論文執筆担当者（著者の指導者として）		6	24%
研究事務局統括マネージメント担当者		2	8%
研究事務局事務担当者		2	8%
データ入力作業		2	8%
ランダム割付事務局スタッフ		3	12%
研究対象者		1	4%
臨床研究に携わった経験はない		1	4%
その他（上記以外の役割で臨床研究に参加） <a href="#">View Responses</a>		1	4%

5. 今回のセミナーの中で、「役にたつと思った内容」を記入してください。

[View 18 Responses](#)

5. 今回のセミナーの中で、「役にたつと思った内容」を記入してください。

#	Response
1	SPSS で出来ること
2	検定や分析を行うにあたり必ずチェックしなくてはならない項目、図が分かり今まで無視して進めていた部分の誤りが見つけられ役に立った。地震のことでバタバタし疲れが出てしまって集中して聞けなかったのが残念でした。もったいなかった。
3	各解析法利用時の使用判断基準とそれぞれの性質について
4	回帰分析
5	医療統計の基礎を分かりやすく学べた点良かった。
6	線形回帰以降の内容 表の意味等分からないことがありどこを見れば良いかあるいはその値が何を意味しているか分かりやすかったです。
7	重回帰、ロジスティック回帰分析
8	ソフトのアウトプットの解釈
9	重回帰、ロジスティックの内容
10	全部
11	ロジスティック分析
12	操作法が少し見えてきました。
13	分散分析の再勉強が出来ました。回帰分析を知ることが出来ました。
14	SPSS の具体的な使い方
15	回帰分析が分かりやすかったです。
16	全ての項目が役に立ちました。医療系の研究科の正規の授業としてやってほしいです。研究のために全て大切で必須の内容ばかりでした。
17	生存分析ロジスティック回帰分析
18	統計の基本的な部分が理解できた。

6. 本日のセミナーの中で、もっと詳しく説明を開きたかった内容や、難しいと感じた内容をお聞かせください。

[View 16 Responses](#)

6. 本日のセミナーの中で、もっと詳しく説明を聞きたかった内容や、難しいと感じた内容をお聞かせください。

#	Response
1	データの入力の注意点カテゴリデータなどのデータ種類別に
2	検定、分析説明とPC操作が同時であったため図や表が残らず見比べながら整理することができなかった。
3	ソフトウェア自体の作業手順の詳細
4	演習を含めたセミナーだったら理解が深まると思いました。ロジスティック回帰以降
5	因子分析、各統計法の option についての説明 output についての詳細説明
6	ROC 曲線、COX 回帰が難しかったです。
7	COX 回帰が難しかった。
8	SPSS のオプション設定
9	COX 回帰のところ
10	後半全部難しかった。つまり以前 start-view で分散分析、post-hock test のみ処理の経験がある。
11	ROC 曲線
12	操作の実際
13	回帰分析が難しく感じました。
14	資料の後半部分、少し速度が速くなった。
15	SPSS の操作方法ついてぜひ教えて頂きたいと思います。
16	ロジスティック重回帰分析

7. 今回のセミナーについて改善するべき点がありましたらご記入ください。(セミナーの運営面・セミナーの内容・配布資料など、どんなことでも構いません。)

[View 13 Responses](#)

7. 今回のセミナーについて改善するべき点がありましたらご記入ください。(セミナーの運営面・セミナーの内容・配布資料など、どんなことでも構いません。)

#	Response
1	知らないことがいっぱい頭がいっぱいいっぱいになり最後1hは集中できませんでした

2	もう少し時間が短い方が受けやすかったです。回数を分ける等・・
3	資料の図をもっと大きくしてください。
4	引き続き開催していただきたい。
5	ぜひ後半部分(4.5.6.7)論文で使うところにターゲットをしぼった講習も期待しています。
6	このままでいいと思います。
7	実践的に操作の仕方など
8	特に今はありません。
9	「統計の話」と「操作法」を分けると良いと思います。
10	特にありません。
11	シリーズでお願い致します。続けて下さい。
12	セミナーの広報、運営はすばらしく資料もとても分かりやすいものでした。出来れば2~3日間で同様の内容をカバーしてほしいです。短時間にボリュームが非常に大きくて消化不良でもったいなかったです。
13	2回に分けてほしい。時間が長い。

8. 臨床研究センターにて、今後、開催して欲しいセミナー等がありましたら、具体的な内容をご記入ください。また、開催曜日や時間帯などについてもご希望があればお聞かせください。

[View 10 Responses](#)

8. 臨床研究センターにて、今後、開催して欲しいセミナー等がありましたら、具体的な内容をご記入ください。また、開催曜日や時間帯などについてもご希望があればお聞かせください。

#	Response
1	しかし SPSS は必要であり今までの研修の中で一番私にとっては為になりました。
2	今後もぜひ参加させて頂きたいと思います。ありがとうございました。
3	年間を通して臨床研究に必要な内容(疫学的なこと、統計学的なことなど)を体系的に学べるようになると北里大学内の研究レベルが上がって良いと思います。
4	因子分析、AMOS、DECISION TREE、PROGRAMMING 言語の入門知識
5	同上
6	テーマごとに詳しいセミナーもやってほしい。

7	いつでも OK
8	Mac の Start View を使っていて使用不可になり困っている人がたくさんいると思います。Start View を使っていて SPSS に乗り換えると「こんなことが出来る」「できない(作図機能)」を教えてくださいと助かります。
9	同様に構いません。
10	他大学の大学院のように大学でも SPSS がようやく学べる環境を作ってください本当に感謝です。系統的に学ぶことが出来なかったのもとても有意義でした。研究者としてツールの原理原則の基礎を学ぶことは質の高い研究を将来していけるために最低限必要なことだと思います。今後は正規の授業の中にぜひ取り入れて頂きたいです。





統計ソフト IBM 配布版「SPSS」セミナー 参加者アンケート 初学者のための臨床研究支援講座（7）（8）  
20110406 Survey Status: ActiveLaunched: 4/12/2011 6:01 PMClosed: N/A







<b>1.</b>	ご所属	Action
View 21 Responses		

<b>2.</b>	お名前	Action
View 22 Responses		

<b>3.</b>	TEL/FAX	Action
View 13 Responses		

<b>4.</b>	E-Mail	Action
View 16 Responses		

<b>5.</b>	IBM SPSS Statisticsの使用経験についてお聞かせください。	Action	
初めて知った		2	9%
知っていたが利用したことがない		6	26%
多少触ったことがある		7	30%
研究に利用している		8	35%
その他		0	0%
テキスト記入欄		0	0%
Total		23	100%

<b>6.</b>	アプリケーションの使用経験についてお聞かせください。	Action	
Excel		19	86%
SAS		3	14%
STATA		5	23%
R		2	9%
その他		6	27%
テキスト記入欄		6	27%
View Responses			

その他



1	start view
2	SPSS II
3	なし
4	start view
5	start view
6	start view

**7.** 今回のセミナーに参加された理由をお聞かせください。 Action

IBM SPSS Statisticsの概要を知りたいから		10	43%
IBM SPSS Statisticsの操作方法を学びたいから		12	52%
IBM SPSS Statisticsの情報を得たいから		7	30%
論文作成等、研究に必要なから		14	61%
その他		4	17%
テキスト記入欄 <a href="#">View Responses</a>		4	17%

**8.** セミナーについての評価をお願いします。本セミナーの内容は目的と一致していましたか？ Action

<b>1</b> 7+分		5	22%
<b>2</b> 6		8	35%
<b>3</b> 5		7	30%
<b>4</b> 4		1	4%
<b>5</b> 3		2	9%
<b>6</b> 2		0	0%
<b>7</b> 1不十分		0	0%
<b>Total</b>		23	100%

**9.** 理由 Action

[View 4 Responses](#)

**9. 理由**

1	自分自身のデータ分析と関連させて伺っていましたので目的と一致していました
2	操作方法がメインと思ってましたので。でも勉強になりました。
3	時間の関係で難しいと思いますがソフトウェアの使用手順ももう少しゆっくり教えて頂けると良かったです。次の機会をお願いします。
4	実際にはまだ使用段階にはなっていない

**10.** 本セミナーの内容はどの程度理解できましたか？ Actions

1	7十分		1	4%
2	6		8	35%
3	5		6	26%
4	4		6	26%
5	3		1	4%
6	2		1	4%
7	1不十分		0	0%
<b>Total</b>			23	100%

**11.** 理由 Actions

View 4 Responses

1	ロジスティック回帰以降は行ったことがないので
2	初心者にとって難しすぎた
3	地震の対応で疲れが出てしまし眠くなって残念
4	私の頭がおいつかない

**12.** 本セミナーの時間はどうでしたか？ Actions

1	7十分		7	30%
2	6		6	26%
3	5		3	13%
4	4		4	17%
5	3		2	9%
6	2		0	0%
7	1不十分		1	4%
<b>Total</b>			23	100%

**13.** 理由 Actions

View 3 Responses

1	内容に対して短すぎる
2	ボリュームに対して少し短い印象でした
3	もっと実際に使いたいと心が動かされた

**14.** 資料についてはどのように思いますか？ Actions

1	7十分		3	13%
2	6		9	39%
3	5		6	26%
4	4		4	17%
5	3		1	4%
6	2		0	0%
7	1不十分		0	0%
<b>Total</b>			23	100%

**15.** 理由 Actions

View 5 Responses

1	スライドの番号をみやすくしていただければ最高です。
2	理解しやすい
3	とても良いが1ページの情報量が多すぎる。メモを書くスペースがないので分散してほしい
4	P30.40の間の重回帰分析の説明が沢山あったが画面のプリントがなく残念
5	SPSSの投入過程が分からない人が多くその過程の資料がほしい

**16.** 講師のプレゼンテーションの印象はどうでしたか？ Actik

1	7非常に満足		5	22%
2	6		13	57%
3	5		2	9%
4	4		1	4%
5	3		0	0%
6	2		2	9%
7	1非常に不満		0	0%
Total			23	100%

**17.** 理由 Actik

[View 3 Responses](#)

1	小職には少し速かったです。
2	とても明快だった
3	急ぎすぎず良い印象です

**18.** 講師の質問や問題点の対処の印象はどうでしたか？ Actik

1	7非常に満足		6	27%
2	6		11	50%
3	5		4	18%
4	4		1	5%
5	3		0	0%
6	2		0	0%
7	1非常に不満		0	0%
Total			22	100%

**19.** 理由 Actik

0 Responses

**20.** 本セミナーの全体の満足度はどの程度ですか？ Actik

1	7非常に満足		5	23%
2	6		9	41%
3	5		4	18%
4	4		2	9%
5	3		1	5%
6	2		1	5%
7	1非常に不満		0	0%
Total			22	100%

## 21. 理由

Acti

View 2 Responses

- |   |                         |
|---|-------------------------|
| 1 | 統計の本を読めば分かる内容も多くありましたので |
| 2 | 各解析法、分析法の再確認ができました      |

## 22. 講義のペースはどうでしたか？

Acti

1	遅い		1	4%
2	ちょうどよい		15	65%
3	速い		7	30%
Total			23	100%

## 23. 理由

Acti

View 2 Responses

- |   |                                  |
|---|----------------------------------|
| 1 | 若干速かった                           |
| 2 | 自分の知識不足もあり頭で理解する間に先へ進む場面が多々ありました |

## 24. 本セミナーを推薦していただけますか？

Acti

1	はい		18	78%
2	いいえ		0	0%
3	わからない		5	22%
Total			23	100%

## 25. 理由

Acti

View 1 Responses

- |   |                             |
|---|-----------------------------|
| 1 | 「統計の話」と「SPSSの話」を分けると良いと思います |
|---|-----------------------------|

## 26. 今後、IBM SPSS Statisticsを利用しますか？

Acti

1	はい		17	74%
2	いいえ		1	4%
3	わからない		5	22%
Total			23	100%

## 27. 理由

Acti

View 2 Responses

- |   |                |
|---|----------------|
| 1 | 現在研究活動していないので  |
| 2 | 既にMac版を使い始めました |

## 28. 今後もIBM SPSS Statisticsのセミナー開催を希望しますか？

Acti

1	希望する		16	100%
2	特に希望しない		0	0%
Total			16	100%

29. 希望する内容 <span style="float: right;">Acti</span>			
IBM SPSS Statisticsの実際での活用方法について		13	87%
IBM SPSS Statisticsのスキルアップになるような操作方法について		12	80%
その他		1	7%

30. その他 <span style="float: right;">Acti</span>	
<a href="#">View 1 Responses</a>	

1 因子分析、AMOS

31. 今後使用する(予定の)統計手法についてお答えください。 <span style="float: right;">Actio</span>			
分散分析(一般線形モデル)		12	75%
回帰分析		14	88%
反復測定		6	38%
ロジスティック回帰		11	69%
Kaplan-Meier法		8	50%
COX回帰		4	25%
時間依存のCOX回帰		1	6%
因子分析		6	38%
クラスター分析		1	6%
DecisionTree(決定木分析)		0	0%
時系列分析		0	0%
共分散構造分析(Amos)		2	12%
信頼性分析		1	6%
相関係数分析		0	0%
多次元尺度法		0	0%
その他		1	6%
テキスト欄		1	6%
<a href="#">View Responses</a>		1	6%

32. 本日のセミナーで印象に残った部分をご記入ください。 <span style="float: right;">Actio</span>	
<a href="#">View 11 Responses</a>	

32. 本日のセミナーで印象に残った部分をご記入ください。	
1	今まで受けた統計の講義で最もよかった
2	質問に丁寧に答えて頂いたので分かりやすかった。
3	分かりやすく違ったきり口で話して頂いたのが良かった
4	回帰分析、因子分析がより分かりやすかった
5	講師の誠実な対応、とても丁寧に明瞭な説明の態度
6	ロジスティック等どこを見れば良いか分かり良かったです
7	教材が分かりやすくまとまっていて良かった
8	パラメータ(質、量)の違いについて今までいい加減でした。

9	統計処理の重要な点を学んだ。内容盛りだくさんなので実際に SPSS を使用する時間はなかったがもう一日有れば実習が出来るかもと考えました。
10	対応のあるサンプルの T 検定 生存分析ロジスティック回帰
11	IBM 社の人が VAIO を使用していたこと

<b>33.</b> 今後、IBM SPSS Statisticsを購入しようと思いますか？ <span style="float: right;">Action</span>				
<b>1</b>	購入しようと思う		7	47%
<b>2</b>	購入しようと思わない		8	53%
Total			15	100%

<b>34.</b> その理由 <span style="float: right;">Action</span>			
<a href="#">View 9 Responses</a>			

34. その理由	
1	その他 既に持っている
2	その他 既に使っている
3	その他 既に購入済み
4	施設で利用できるから はい
5	施設で利用できるから はい
6	その他 既に購入した
7	施設で利用できるから はい
8	その他 既に購入している
9	施設で利用できるから はい

35. セミナーの内容に関しまして、ご意見・ご感想などございましたらご記入ください。

Actio

[View 10 Responses](#)

35. セミナーの内容に関しまして、ご意見・ご感想などございましたらご記入ください。

- |    |  |
|----|--|
| 1  | 一括して講義していただいたのが良かった  |
| 2  | 受講したことがなかったのでも分かりやすかったです   |
| 3  | PC操作のないセミナーが良かった。SPSSセミナーでは操作に気がとられて統計学的な意味を理解するのが難しかったので。操作より意味の理解が大切だと痛感した。データの結果の出し方、読み方についてとても良く分かりました |
| 4  | やはり実際の操作が出来た方が良いかと思えます。  |
| 5  | それぞれの表がどこから選んでいくと良いか分かると助かります。操作方法を資料に載せて頂けると助かります。  |
| 6  | できればSPSSを演習形式で使えた方が良かった  |
| 7  | 具体的に検定、解析を行う際のチェック項目を教われたので役に立ちました。  |
| 8  | 実際にデータを処理しようとしたとき自分で正しいルートを選んで解析していくことができるかどうか不安である。お助け窓口などありますか？  |
| 9  | 内容が濃く理解できない計算式、定義等は少しあったが今まで不正確であったことが明確にできた。感謝します。  |
| 10 | スライドの番号が見にくい抑揚がなく進められるため内容が頭に入ってこなし残らない提示されるデータと配布資料のデータを同じものにすべきでは？いったりきたりして分かりにくくなる                      |

36. IBM SPSS Statisticsについての質問等ございましたらご記入ください。

Actio

[View 4 Responses](#)

36. IBM SPSS Statistics についての質問等ございましたらご記入ください。

- |   |   |
|---|---|
| 1 | 今後ともお願いします  |
| 2 | 今まで漠然としたところが分かりました。非常に良い機会でした。ありがとうございます。地震対応、放射能漏れ対応、計画停電対応の中での参加でしたが勉強になりました。 |
| 3 | output の解釈についてもう少し詳細に説明頂きたい。option(各分析法においての)についての詳細な説明をして頂きたい                  |
| 4 | 実際のデータ分析支援はしていただけるのか。質問紙作成等にアドバイスをもらったり等有料でも構わないのでお願いしたい。                       |

「EndNote X4」セミナー 参加者アンケート

Survey Status: Closed Launched: 5/5/2011 10:37 PM Closed: 5/15/2011 7:23 PM

**1.** 本日、受講された日程を選択してください。 Actio

(A) 5月10日(水) 10:00~11:30		17	26%
(B) 5月10日(水) 13:30~15:00		15	23%
(C) 5月13日(金) 10:00~11:30		17	26%
(D) 5月13日(金) 13:30~15:00		17	26%
Total		66	100%

**2.** 本日のセミナーの全体的な満足度をお聞かせ下さい。 Actio

満足		44	69%
どちらかといえば満足		18	28%
どちらかといえば不満足		2	3%
不満足		0	0%
Total		64	100%

**3.** 今回のセミナー情報は、どのように入手されましたか？（受講するきっかけとなったお知らせ方法を、ひとつ選択してください） Actio

医学部附属臨床研究センター（KRCO）からの一斉送信メール（職員・学生あての一斉送信）		38	58%
医学部附属臨床研究センター（KRCO）からの一斉送信メール（過去の受講者あての一斉送信）		1	2%
北里大学大学院医療系研究科・学生への一斉送信メール（特別講義扱いとなったお知らせメール）		11	17%
医学部附属臨床研究センター（KRCO）のホームページ上のお知らせ		1	2%
EBM関連のメーリングリスト		0	0%
北里大学・病院内の掲示ポスター		4	6%
知人からのお知らせ「一斉送信メール」転送による紹介		2	3%
医学部附属臨床研究センター（KRCO）スタッフからの紹介		7	11%
その他 <a href="#">View Responses</a>		2	3%
Total		66	100%

**4.** 臨床研究に関して、どのようなお立場でいらっしゃるかをお聞かせください。（複数選択可） Actio

研究計画書（プロトコル）作成者		23	35%
研究対象者の治療や対象者データ収集に関わる医師		26	39%
研究対象者の治療や対象者データ収集に関わるコメディカルスタッフ		9	14%
統計解析・分析担当者		15	23%
学会発表担当者		35	53%
論文執筆担当者（筆頭著者として）		42	64%
論文執筆担当者（著者の指導者として）		10	15%
研究事務局統括マネージャー担当者		4	6%
研究事務局事務担当者		3	5%
データ入力作業		8	12%
ランダム割付事務局スタッフ		7	11%
研究対象者		1	2%
臨床研究に携わった経験はない		3	5%
その他（上記以外の役割で臨床研究に参加） <a href="#">View Responses</a>		5	8%

**5.** 今回のセミナーの中で、「役にたつと思った内容」を記入してください。 Actio

[View 64 Responses](#)



5. 今回のセミナーの中で、「役にたつと思った内容」を記入してください。

- |    |  |
|----|--|
| 1  | 参考文献の自動作成、雑誌による参考文献の形式の変換  |
| 2  | パソコンを用いて実践できたこと  |
| 3  | PubMed 検索からの取り込み方など基本的なこと全般  |
| 4  | エンドノートの使い方が自分が思っていたよりも幅広いものであると分かりました。   |
| 5  | 雑誌ごとのスタイルの変更が便利なこと。  |
| 6  | 参考文献の記載方法  |
| 7  | エンドノートの使い方の概要が分かった   |
| 8  | word への貼り付け  |
| 9  | 文献の管理  |
| 10 | 参考文献が簡単につけられる。論文検索。  |
| 11 | EndNote の活用法が理解できたこと   |
| 12 | リファレンス作成について   |
| 13 | 実際の使用法   |
| 14 | 文献整理の仕方  |
| 15 | エンドノートを持っているが使用したことはなく、実際に使用してみて使い方・使いやすさが分かった   |
| 16 | EndNote 内での文献のグループ整理   |
| 17 | endnote の新しく有益な点の紹介  |
| 18 | Endon はなんとなくわかっていたのですが、今回の非常に分かりやすい演習で使い方がわかり、今後購入してでも使用していこうと思います。                            |
| 19 | End Note の使用方法について詳しく知ることができた点と、現在使用している X3 との違いや、アップデートをすることで X4 を使用可能となることが分かったことは、大きな収穫でした。 |
| 20 | EndNote の基本的な活用方法を一通り学べたと思います。特に、Referenceno の作成方法に関しては非常に参考になりました。                            |
| 21 | EndNote の使用方法  |
| 22 | EnsNote 購入なのですべて参考になりました。  |

23	論文作成時の、引用論文目録作成 興味ある事柄に関する論文目録の作成
24	X3を持っていたのですが、今まで文献検索等使いこなせていませんでした。これからのたいへん時間短縮につながるためになる講義でした。
25	エンドノートからの PDF
26	事例に基づいた懇切丁寧な説明と、実際の演習が含まれており充実していた。
27	文献整理の容易さ
28	ワードとどのようにリンクさせるかよくわからなかったのが、参考になった。
29	論文の作成方法
30	卒業論文を作成する上で役に立ちそうだと思います。
31	参考文献リストの自動作成
32	論文検索やインポート方法、PDF ファイルの添付方法など
33	参考文献の自動作成
34	すべて
35	論文検索・論文作成の支援・データ管理等さまざまなことで役に立つことを実感いたしました。
36	今までは紙ベースで文献を保存していたが、それがコンピューター上で管理できる場所。
37	エンドノートの存在を初めて知った。
38	論文作成のリファレンスに関して
39	エンドノートの活用が幅広くできること(いろいろ応用がきくこと)
40	endnoteⅦを使用しており、X4 の有用性について確認できた。
41	初歩的なことを講習していただけたのでとてもわかりやすかったです。
42	作成済みのファイルが保存されていないことがあり、その理由が分からなかったのが、本日のセミナーでその理由が理解できました。
43	参考文献の作成や 論文修正の際の文献番号を自動的に番号をあわせてもらえる。
44	論文を整理する時や、reference の作成にとっても役に立つと思いました。
45	ワードの中で reference の書式変更ができることがわかったこと。

46	リファレンスの整理
47	ward との連動
48	医中誌もエンドノートで利用できることがわかりました。
49	論文の書き方やデータ管理の仕方
50	エンドノートの使い方.
51	全て役にたつものばかりでした。ありがとうございました。
52	文献の検索から管理がとても便利
53	End Note の概要と使用法
54	文献検索の無駄な時間が削減されたこと
55	とにかく便利 時短
56	・ENDNOTE の使用方法全般・文献だけでなく、他のファイル管理の方法・引用文献の書式の変更
57	論文管理リファレンスの作成
58	収集論文管理方法および、フォーマット変更方法等
59	PDF から Reference を作る機能。管理機能
60	文献の収集から論文の作成までの手順が理解できて役に立つと思いました。
61	EndNote のファイル管理
62	医学中央雑誌のダイレクトエクスポート
63	word 原稿内のフォントなどもコントロールできること
64	EndNote で PDF から書誌情報が取れるようになったこと

6. 本日のセミナーの中で、もっと詳しく説明を聞きたかった内容や、難しいと感じた内容をお聞かせください。

Action

[View 47 Responses](#)

6. 本日のセミナーの中で、もっと詳しく説明を聞きたかった内容や、難しいと感じた内容をお聞かせください。

- |   |  |
|---|--|
| 1 | 論文作成の応用                                    |
| 2 | エンドノートを使った事がなかったため、途中で細かな対応についていけない所がありました |
| 3 | せつめいが早くて置いていかれそうになった                       |

4	特になし
5	用語に慣れていないので、追いつくのが大変だった。
6	投稿雑誌によるスタイルの変更
7	説明の前のプロジェクターのポインターの指示が見えにくい時があった。
8	もう少し自分で操作してみないとわからない
9	参考文献を引用するとき、雑誌に合ったフォーマットがないときの具体的な対処法について
10	よく判った、あとは実行のみ！
11	難しいところは今後使っていけないとわからないと思います。演習中には特に質問はありません。
12	テキストの作成方法や、論文でなく、本を引用する際の作成の仕方などを詳しく教えていただき良かったです。
13	セミナーの時間に限りがあったため、やむ負えないとは思いますが、説明が早くついていけない箇所が多々ありました。
14	活用法
15	オンラインサーチ時の詳細の検索方法。
16	テンポが、初心者には少し早かった。
17	わかりやすく進行していただいたため、全てで勉強になりました。
18	情報のリソースが多岐にわたり、複数のデータ収集法があるため、それぞれに対応する事例を演習できるセミナーにしてほしい。
19	今回説明していただいたのはトライアル版で出来そうなものだったので、購入版はそれ以外にどのような利点があるのかを知りたかった。ただ、それはアドバンスレベルの講習会で聴けそうだとわかったのでそれを楽しみにしたい。
20	初心者だったので、もう少しゆっくりとやってほしかったです。
21	文献以外の情報の管理でも使用できるということに、更に興味を持ち、もっと詳しく学びたいと思いました。
22	Style の設定方法
23	別のパソコンでデータを利用する際の方法についての説明が分かりにくかった。
24	今後は上級編を聴講したいと考えています。
25	後半の、PDF ファイルの保存について
26	インポート、エクスポートに関して、医中誌以外からのもの詳しくやってほしかった
27	あっという間に時間が過ぎてしまいました。何回かセッションに分けて講演していただきたいです。